

受験マル得情報(東京・埼玉版)

いよいよ本格的な受験シーズンが到来しました。受験生の皆さんは、日夜、最後の追い込みに全力をあげて勉強に取り組んでいることと思います。今回は受験シーズンに実力以上の力の発揮を願う「げん(験)かつぎ」特集です。

執筆中の私も、高校受験の折、神社参拝をし、第一志望校へ合格致しました。

神様を味方に付け、準備万端受験に臨もう！

定番！合格祈願神社紹介

合格祈願で有名な東京・埼玉の神社を紹介します。ぜひ、合格祈願をしておきましょう！

①湯島天神 (東京都文京区)

全国的に有名な湯島天神は、江戸時代から学問の神様として知られ、幕府の工



湯島天神

リート官僚候補生もお参りをしたそうです。現代でも受験シーズンには、多数の受験生が参拝に訪れますが、普段からも学問成就や修学旅行の生徒で賑わいを見せている天満宮です。全国から集まる絵馬の数々であふれんばかりです。

②大宮氷川神社 (さいたま市大宮区)



大宮氷川神社

大宮の氷川神社は武蔵一宮氷川神社と呼ばれ、埼玉、東京、神奈川に点在する数百の氷川神社の本拠として、二千年以上の歴史を持っている。高校受験、大学受験成就には人気の高い神社です。また自然にも恵まれていて、心身ともに落ち着く神社です。参拝の後はずいぶん、大宮公園に行ってみよう。

③文殊寺 (熊谷市)

文殊寺は野原の文殊さま、知恵の



文殊寺

文殊寺で知られていきます。「三人寄り、文殊菩薩は知恵を司る仏様。遙か昔から学業成就の願いを求め、県内のみならず他県からも多くの人々が訪れます。毎年、学業成就を祈願する若者も多く、新しい門出に幸あれと祈る姿は真剣そのものです。

合格のためのげんかつぎ

【豚カツを食べる】

これは「カツ」と「(受験に)勝つ」を掛けたげんかつぎですが、豚肉にはエネルギー源となる脂肪をはじめ、疲労回復に役立つビタミンBや記憶力の衰えを防ぐとされるタンパク質が豊富に含まれており、単なる語呂合わせでは終わらない効果もあります。

【れんこんを食べる】

↓先が見通せる。

【ワインナーを食べる】

↓ウィナー(勝者)になる。

【ネバネバした食品を食べる】

↓ネバネバアップ(最後まで頑

張れる！?)。

【柿の種も縁起物】

↓柿の種は勝ちの種。

【五角形の鉛筆を使う】

「五角」と「合格」の語呂合わせによるげんかつぎ。神社などでも「知恵の鉛筆」などの名称で、合格祈願グッズとして販売しています。

【靴を右足から履く】

ヨーロッパのある地方では「右足から家を出ると幸運を呼び寄せる」というげんかつぎがあります。それは、ヨーロッパでは、右が縁起が良く、左が不吉とされているというものから来ており、「右足から靴(または靴下)を履く」や「右からベッドを出る」なども同じような意味を持つようです。

受験生のみなさん、今回のげんかつぎ特集はいかがでしたでしょうか？受験はどんなにしっかり準備していても、気持ちが焦り、何かに頼りたくなりますね。そんな時、今回のげんかつぎをうまく利用し、気持ちを楽に最大限の力を発揮できるようにしましょう！

しかし、受験の神様が味方をしてくれるのは、最後までしっかりとやり通した受験生だけです。げんかつぎだけに頼らず、日々の学習と対策をしっかり行ってください。

ガンバレ、受験生！